



第4号

新米町長の奮闘記

～元気で笑顔のあふれる福島町を実現するために～ 【いよいよ新年度の仕事がスタートしました】

比較的穏やかなお正月を過ごし、今年もいよいよやるぞという感じで、三日（日）から仕事が動き出しました。

役場の仕事始めは、六日（水）となっておりませんが、町長の仕事始めは三日からスタートいたしました。

三日（日）は、福島いか釣船頭会新年会、福島小型部会新年会に参加いたしました。また、四日（月）には、消防団出初式、援護相談所総会に参加いたしました。なお、六日（水）には、函館において道新新年交礼会、そして福島に戻り福島町三者合同新年交礼会へ参加いたしました。

七日（木）には、就任以来、初めて高橋はるみ知事と面談する機会をいただきました。当町の水産業の課題などに関して意見交換、道の支援をお願いいたしました。



十六日（土）には、長崎県松浦市の松浦市文化会館で「松浦市市制施行十周年記念式典」に、長野県木曾町長とともに、お招きをいただき溝部議長と参加をさせていただきました。

当日は、午後一時から地元高校生の司会により式典が始まり、長崎県知事、長崎県選出の衆議院議員をはじめ各市町村長などが来賓として参加をされておりました。

式典では、新たに作られた「松浦市市歌・ともに未来へ」が小学生や市民で構成された合唱団により披露され、子供たちの明るい笑顔と元気な歌

声会場いっぱいに広がっております。

また、第二部の記念講演では、フジテレビの「とくダネー」でお馴染みのフリーアナウンサーの小倉智昭さんが「人生引き出し、常にいっぱい」と題して講演され、若い時の苦労話や今話題のS M A Pの話などを楽しく解説し、会場の笑いを誘っております。



講演の中で印象に残ったのが、人生の引き出しを常にいっぱいにするため、小倉さんの日々の努力、常に多くの本を読み、音楽鑑賞や映画鑑賞など知識を広げる会話を幅を広げる工夫をされていて、感銘を受けるとともに見

習うべきことが多くありました。

松浦市と木曾町とは、平成の合併以前の「長崎県旧福島町」と「長野県木曾福島町」の町名に「福島」がつくご縁で平成元年ころから小・中学生や職員の相互交流が行われております。

昨年十二月末から今年一月末で第5次福島町総合計画等の町内説明会を開催しておりますが、公務の関係で全ての町内会へ出席することはできませんが、時間の許す限り町民の皆様の声を聴きたいと考えております。

また、十八日（月）から平成二十八年度の予算編成に伴う町長査定が行われ、町民の皆様の生活に関する予算が作成されております。

私が選挙で公約した事項や思いやりのある行政を目指した予算対応に努めてまいりたいと考え、日々奮闘しております。